



仮庁舎で業務がスタート

## 昭和47年

### 札幌市が政令指定都市となり、豊平区が誕生

当時の区内の人口は、151,101人（現在の清田区も含む）。月寒中央通7丁目（現在のつきさっぷ中央公園付近）にあった旧月寒支所庁舎を、豊平区役所の仮庁舎として使用しました。

写真でたどる

## 昭和49年

### 豊平区役所が現在地に移転、環状通にリンゴ並木植樹

平岸477番地（現在の平岸6条10丁目）に建設された現在の庁舎で、業務が始まりました。また、環状通の区役所前～国道36号の中央分離帯に植樹されたリンゴ並木では、昭和51年から収穫が始まりました。

「丈夫に育ってほしいという願いを込めて行われた植樹



大きく育ったリンゴの木  
(平成13年6月)



町内会の皆さんや子供たちが環状通をパレード

## 昭和51年

### 第1回リンゴまつり開催

環状通に植樹されたリンゴ並木の初収穫を祝う「第1回リンゴまつり」が開催されました。たくさんの区民の皆さんが参加したこのリンゴまつりは、平成11年まで続きました。

## 昭和53年

### 豊平区民センター オープン

区役所に隣接して、図書室、大ホール、料理実習室、和室などを備えた区民センターが完成しました。現在も、区民の皆さんの活動拠点として、大いに活用されています。

オープン間近の区民センター



水球やシンクロナイズ  
ドスイミングもできる  
平岸プール



クレーン車による解体作業の様子

## 昭和59年

### 平岸火葬場が廃止される

里塚斎場の完成に伴い、昭和18年から使われていた平岸火葬場が廃止されました。高い煙突も取り壊され、跡地には、平成元年に平岸プールがオープンしました。